

えべつしじょうほうとしよかん

じどうしつだより

2018ねん2がつ

あたらしくはいった
オススメえほん



『せかいいちまじめなレストラン』
たしろ ちさと／作
(ほるぷ出版)

いつもまじめなイタメーニョさんは、お料理を
作る時も、とつてもまじめ。注文をうけてから
はちみつを集めに行ったり、魚をつりに行ったり。
ほっとする、ステキなレストランのお話です。



『しずかにあみものさせとくれー!』
ベラ・ブロスゴル／さく
おびか ゆうこ／やく (ほるぷ出版)

孫たちにじゃまをされるので、おばあさんの編み
物はちっともはかどりません。しかたがないので、
家を出て、編み物ができる場所をさがしに行きます
が…。ゆかいであたたかなお話です。



『ひょうたんめん』
かんざわ としこ ぶん あかば すえきち え
神沢 利子／文 赤羽 末吉／絵
(復刊ドットコム)

さびしい山道で、「ひょうたんめん」という妖怪に
出くわした「おとじろうまごじろう」さん。「ひょう
たんめん」は人を食らう恐ろしい妖怪なのに、どこ
か憎めません。読み聞かせにおすすめの昔話です。



『ぼくは発明家』
メアリー・アン・フレイザー／作
おびか ゆうこ／訳
(廣済堂あかつき)



『なずずこのっぺ?』
カーソン・エリス／さく
アーサー・ピナード／やく
(フレーベル館)

はじめてこの本を開いたときは、きつとびつ
くりするでしょう。なにせ「昆虫語」で書かれ
ているのですから…。でも、何度も読むうちに
ふしぎと虫たちが話していることがわかってく
るのです。ぜひ、声に出して楽しんでください。



『おもちのかみさま』
かとう まふみ／著
(佼成出版社)

ずっと放っておかれて、心まで固くなってし
まったおもち。どんなに焼かれても、絶対にふ
くらまないぞ!と決意したおもちの顔が、とつ
てもインパクトがあって味わい満点です。



『すごいぞ! ニッポン美術』
(直感子ども美術館)』
ゆうき まさこ ぶん にしむらしよてん
結城 昌子／文 (西村書店)

国宝級の美術品には、言葉では言いつくせ
ない迫力と存在感があります。感性で丸ごと受
けとめる子どもたちから、思ってもみない感想
が聞けるかもしれません。自由にたっぷり一
枚の絵をながめる、豊かな時間をぜひどうぞ。

電話を発明したベル。そのきっかけになったのは、
耳の不自由な母親を助けたいという思いでした。す
ばらしい発想力とあきらめない心を持った、知り
たがり屋な少年の伝記絵本です。



あはなしかいかねんだー 2がつ



ほんかん じどうしつあはなしコーナー

かようび 10:30~11:30
6・20日 すずきさん
13日 かたぎりさん
27日 まつやまさん

もくようび 10:30~11:30
8日 うるうる亭
22日 ねぎぼうず

どようび
3日 オリオンの帯(10:30~11:30)
10日 としょかんのひと(14:00~15:00)
24日 おはなしポケット(10:30~11:30)
としょかんのひと(14:00~15:00)

※17日はおやすみです



えべつばんかん

ちゅうおうこうみんかん
中央公民館・コミュニティセンター

もくようび 10:30~11:30
1・8・15・22日 さいとうさん
どようび 14:00~15:00
10・17・24日 さいとうさん
※3日はおやすみです

おおあさばんかん

おおあさこうみんかん
大麻公民館・えぼあホール

もくようび 10:30~11:30
1・15日 ねがみさん
8・22日 かたぎりさん

おはなしなあに
10:30~11:30
2・10・16・24日



まつやまさんのオススメえほん

『おっと とっと (こどものとも 0.1.2)』

かきのきはら まさひろ ふくいんかんしよてん
柿木原 政弘/さく (福音館書店)

バランス バランス。冬は寒くて、体を動かさないと、運動不足になっちゃうよ。みんなもお家の中や雪の上で、おっととっと遊びをやってみてね。ころばないようにね。



『いぬ』

ジョン・バーニンガム/作 谷川 俊太郎/訳
とやまぼう (富山房)

今年は大年なので「いぬ」の本を紹介합니다。小さい人に読んでもらいたい「いぬ」の本です。おしごとしたり、おてつだいたりする「いぬ」もいるけど一緒に遊ぶ「いぬ」もいいね。

『アンジュール ある犬の物語』

いぬ ものがたり
ガブリエル・バンサン/作 (BL出版)

少し大きい人にも、大人の人にも読んでほしい本です。字のない絵本ですが「いぬ」の気持ちが変わってきます。ポイ捨てされる悲しみは、字がないからこそ伝わってきます。

もし、新しく「いぬ」を家族にすることがあったら、心も命も同じくらい大切なことに気が付いてくださいね。

『ずーっとずっと だいすきだよ』

ハンス・ウィルヘルム/えとぶん
ひさやま たいち やく ひょうろんしゃ
久山 太一/訳 (評論社)

これも「いぬ」と家族のお話です。「いぬ」をかったことがある人も、ない人も「いぬ」が家族になって一緒にくらすと、かけがえのないものになっていくことが良くわかる本です。「だいすきだよ」はみんなすきなことばだよ。伝えようね「だいすきだよ」ってね。